

福 第 1 4 1 8 号  
平成24年11月30日

社会福祉施設等を設置する法人の長 様  
社 会 福 祉 施 設 等 の 長 様

新潟県福祉保健部長

R S ウィルス感染症の流行に伴う注意喚起について（通知）

今年是全国的にR S ウィルス感染症が流行し、本県においても定点医療機関当たりの報告数が9月末から増加傾向にあり、また全国よりも高い値で推移しています。

例年、12月から1月にピークを迎え、今後も流行が続くことが懸念されますので、貴職におかれましては、手指衛生や咳エチケットの推奨など、感染予防のための適切な対応をお願いいたします。

担 当：新潟県福祉保健部 福祉保健課地域福祉係 石川 電 話：025-280-5176（直通） F A X：025-283-3466
---

《この文書は、所管各課（福祉保健課、高齢福祉保健課、障害福祉課、児童家庭課）を通じて発送しています。》

RSウイルス感染症に注意しましょう

1 RSウイルス感染症とは

RSウイルス感染症は年齢を問わず感染し、発熱、鼻水、咳などの軽いかぜ症状がでますが、通常1～2週間で軽快する病気です。しかし、ときに上気道炎から下気道炎に進展して細気管支炎や肺炎を発症し、重症化することがあります。乳幼児（特に6ヶ月未満）、早産児、心臓や肺の病気があるお子さん、高齢者など、免疫力の弱い方は重症化するリスクが高いため、注意が必要です。

2 流行状況

新潟県内においてRSウイルス感染症の報告数が増加しています。例年12月～1月頃に流行のピークを迎え、夏期は報告が少ない状態が継続しますが、今年は8月末頃から例年よりも多く発生が報告されています。（下記グラフ参照）

3 感染経路と予防対策

主な感染経路は、患者の鼻水やたんなどが手指、器物を介する接触感染、あるいは、咳やくしゃみなどの飛沫感染が考えられます。予防対策は、マスクを着用するなどの咳エチケットに努めることや、手洗いもしくは速乾性擦式アルコール製剤による手指衛生に努めることが必要です。

